

# 中日關係世論調查報告2007

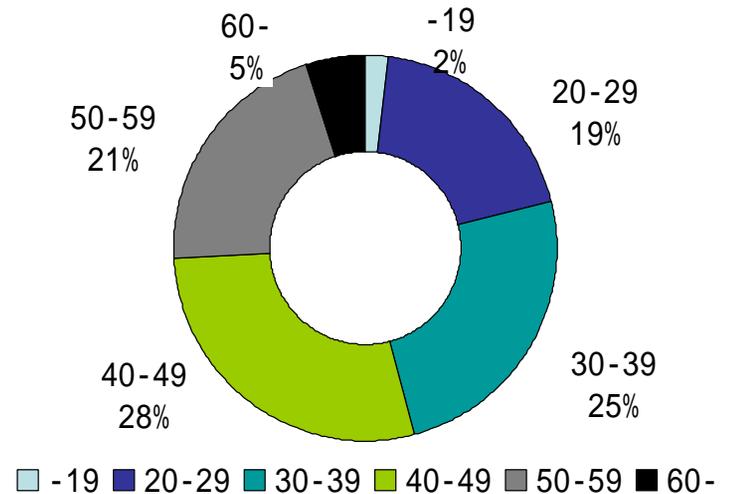
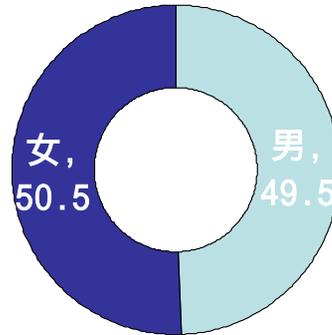
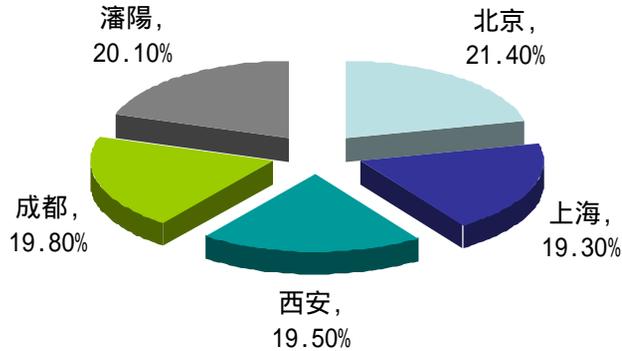
報告者:李玉 範士明  
北京大學國際關係學院

## 調査の由来

---

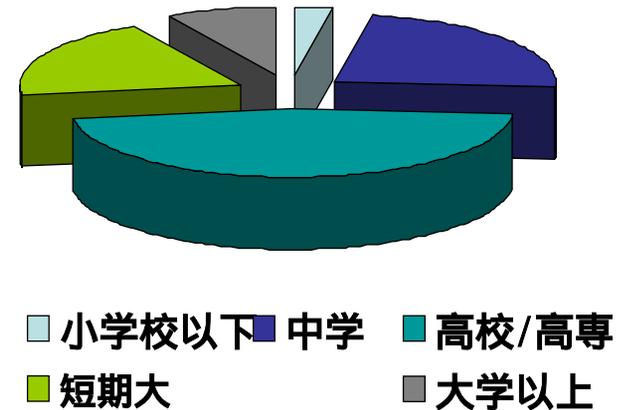
- 「北京 - 東京フォーラム」の活動の一環として、  
毎年一度の「中日関係世論調査」
- 2005年 第一回 6都市 市民1938名  
5大学 学生1148名
- 2006年 第二回 5都市 市民1613名  
5大学 学生1140名
- 2007年 第三回 5都市 市民1609名  
5大学 学生1099名

## サンプル分布 (市民)

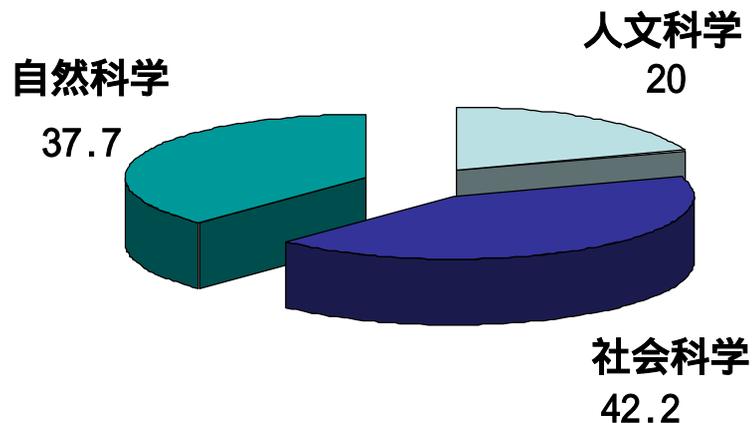
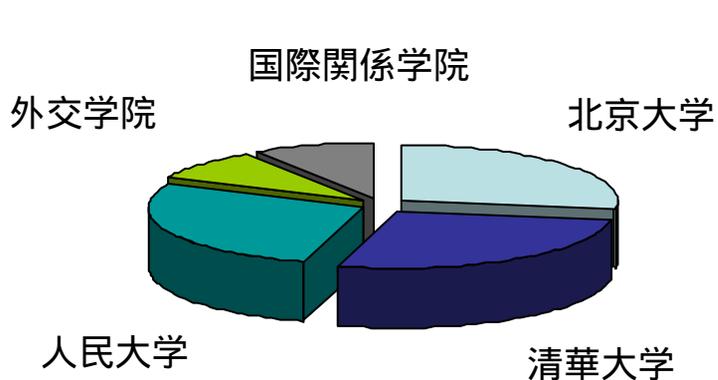


## 政治所屬別

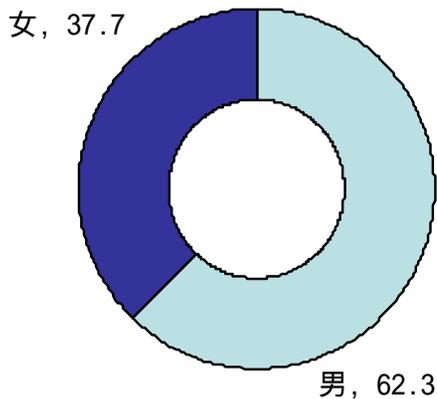
	Frequency	Percent	Valid Perce	Cumulative Percent
Valid 共産党員	144	8.9	8.9	8.9
民主党派	14	.9	.9	9.8
一般市民	1304	81.0	81.0	90.9
共産主義青年団員	120	7.5	7.5	98.3
回答拒否	27	1.7	1.7	100.0
Total	1609	100	100.0	



## サンプル分布(学生)



### I1 学年別

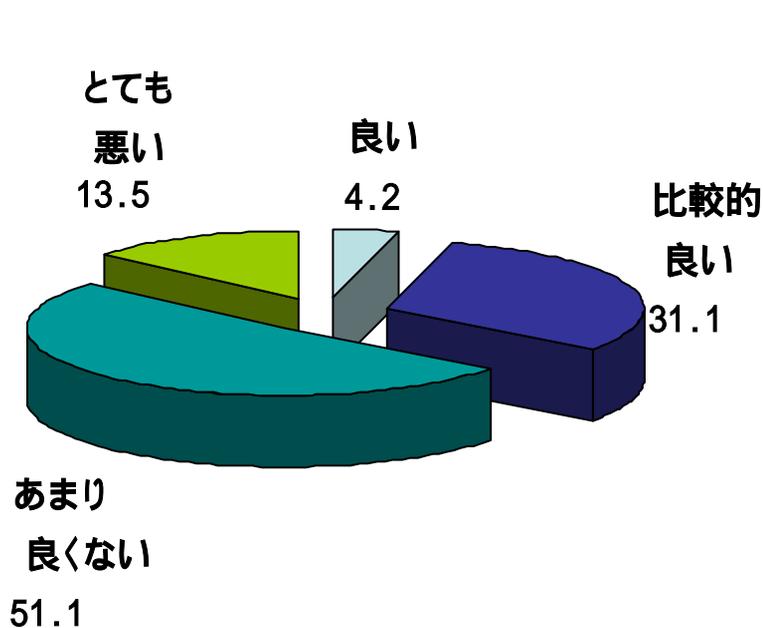


		Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
Valid	大学生1-2年	266	24.2	24.3	24.3
	大学生3-5年	339	30.8	31.0	55.3
	修士院生	411	37.4	37.5	92.8
	博士院生	79	7.2	7.2	100.0
	Total	1095	99.6	100.0	
Missing System		4	.4		
Total		1099	100.0		

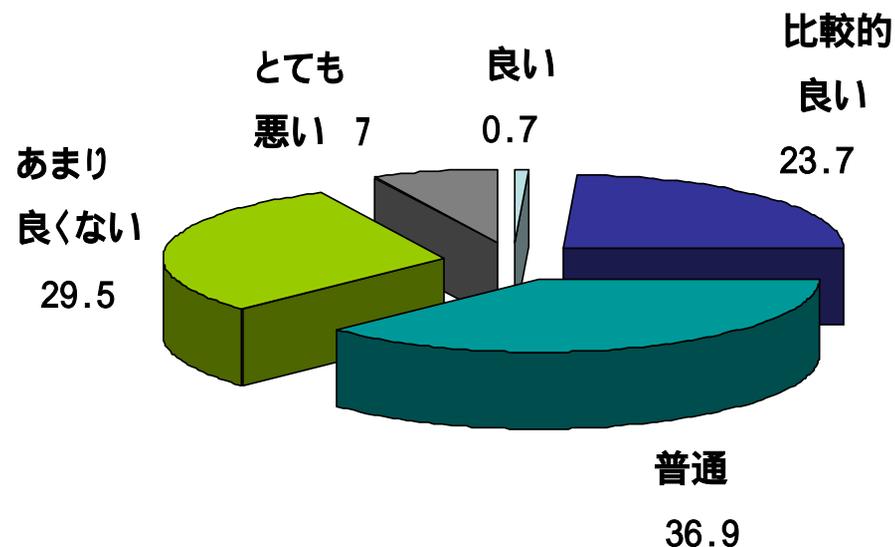
# 日本と中日関係に対する全体的な印象(1): 日本に対する全体的な印象

## 第三届“北京-东京”论坛

### 学生



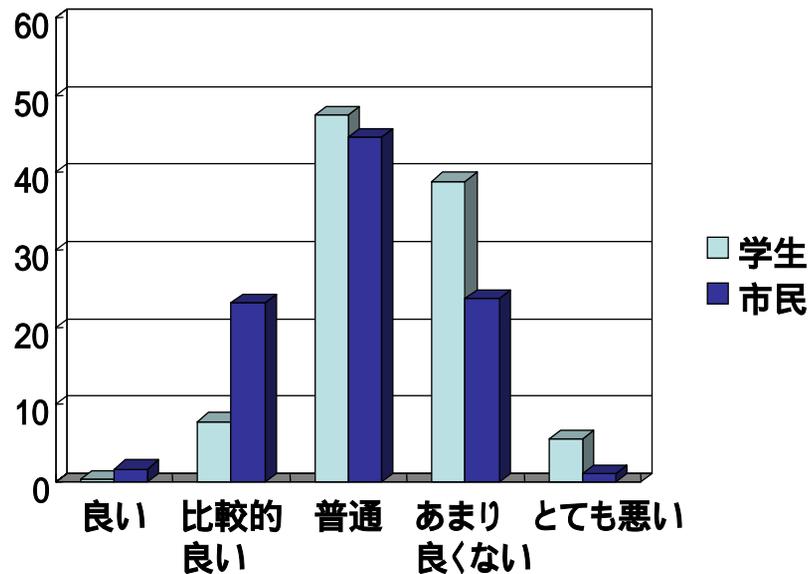
### 市民



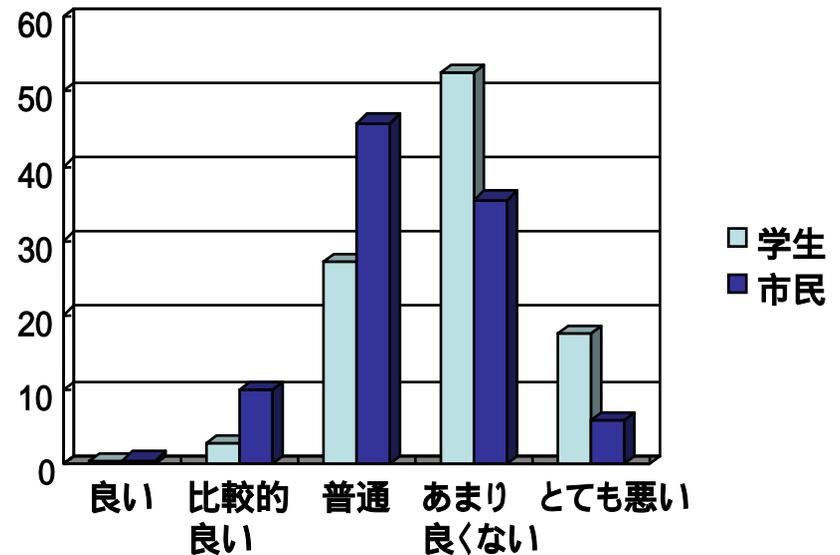
# 日本と中日関係に対する全体的な印象(2): 今の中日関係についての認識

## 第三屆“北京-東京”论坛

2007

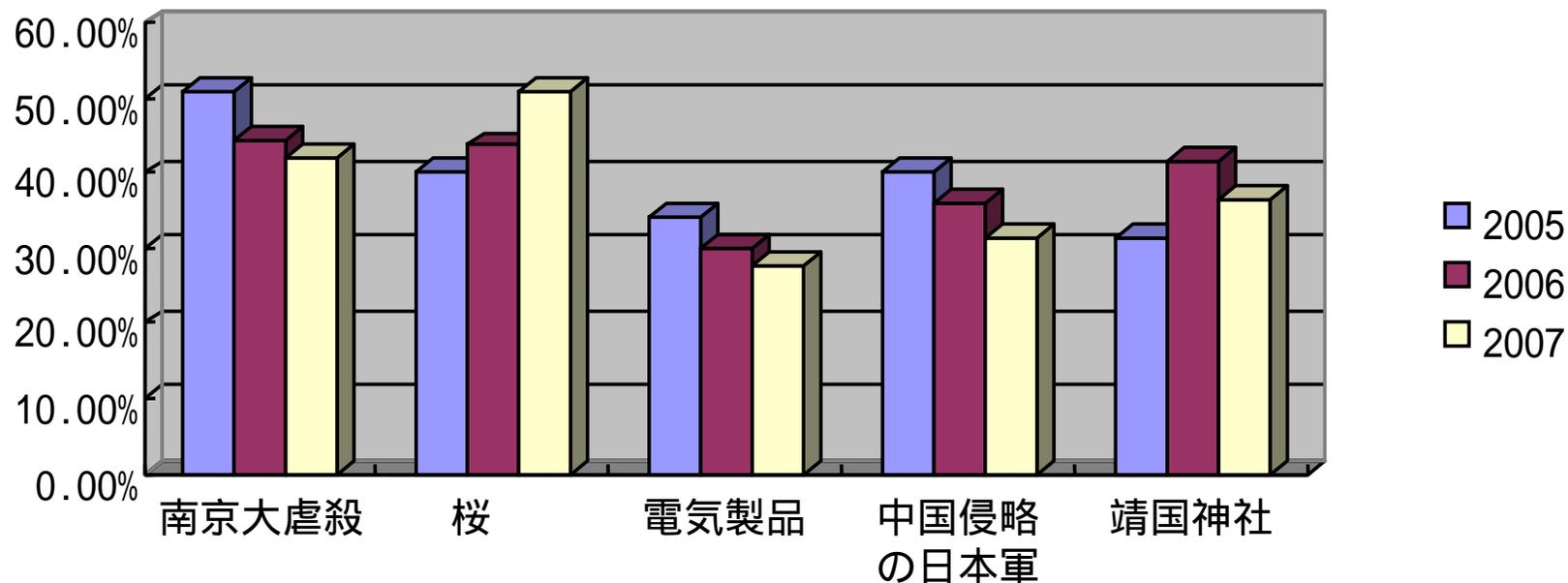


2006



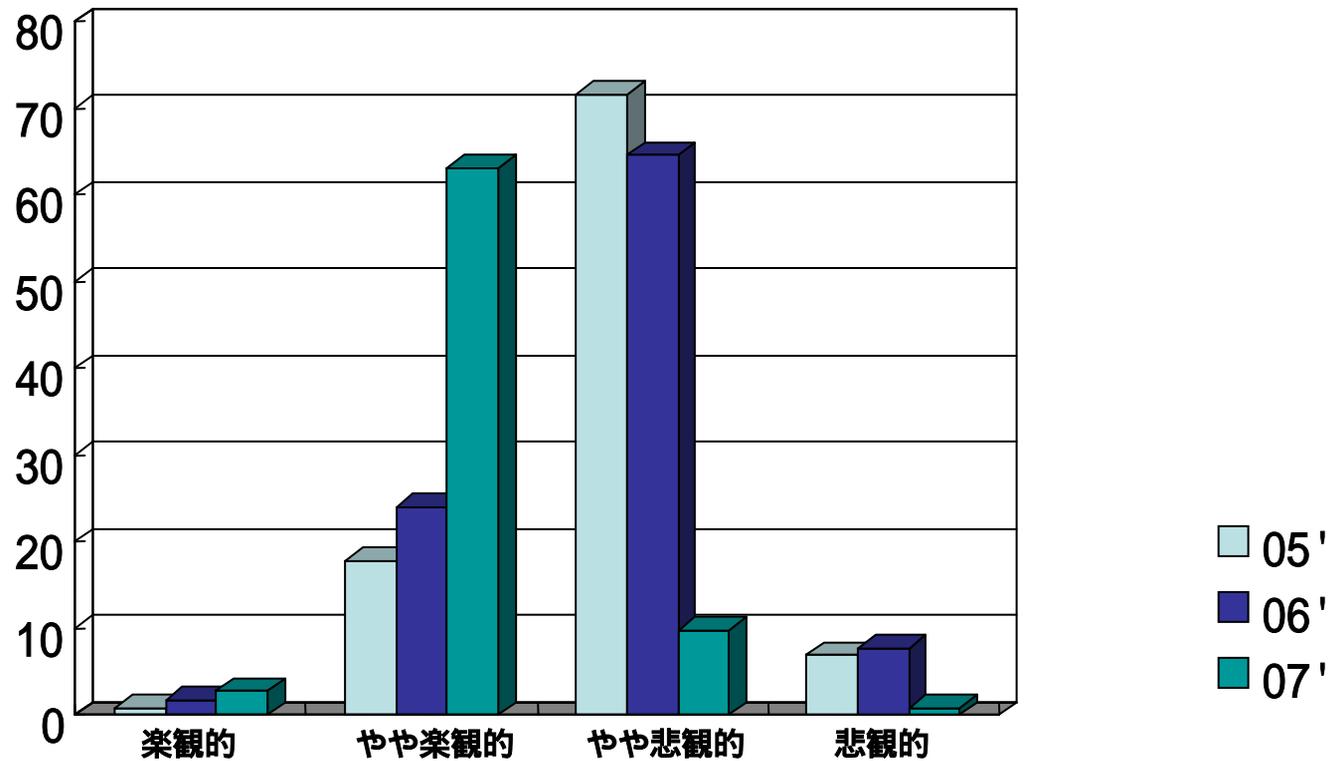
58.9%の中国市民と49.9%の学生が過去一年において中日関係が好転していると考え、変化がないと考える市民・学生はそれぞれ33.8%、24.6%を占める。

## 経済、文化、歴史のキーワード



依然として歴史や経済文化のキーワードが混在しているが、経済文化に関する印象がやや増加するという点で微妙な変化がみられた。

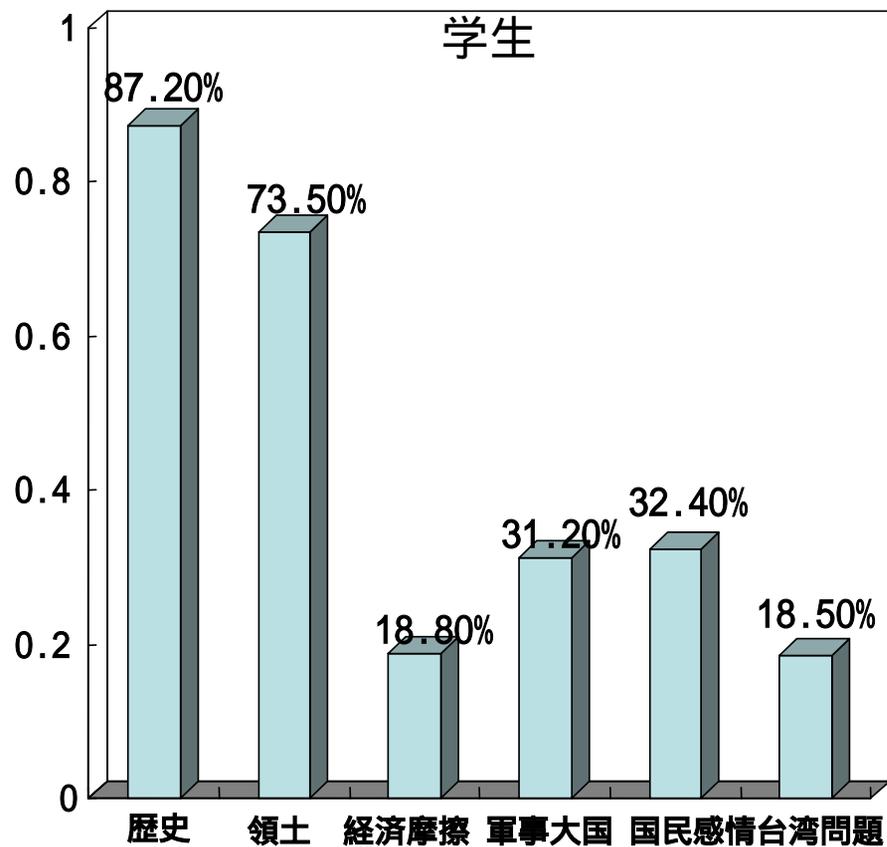
# 日本と中日関係に対する全体的な印象(4): 中日関係の先行き



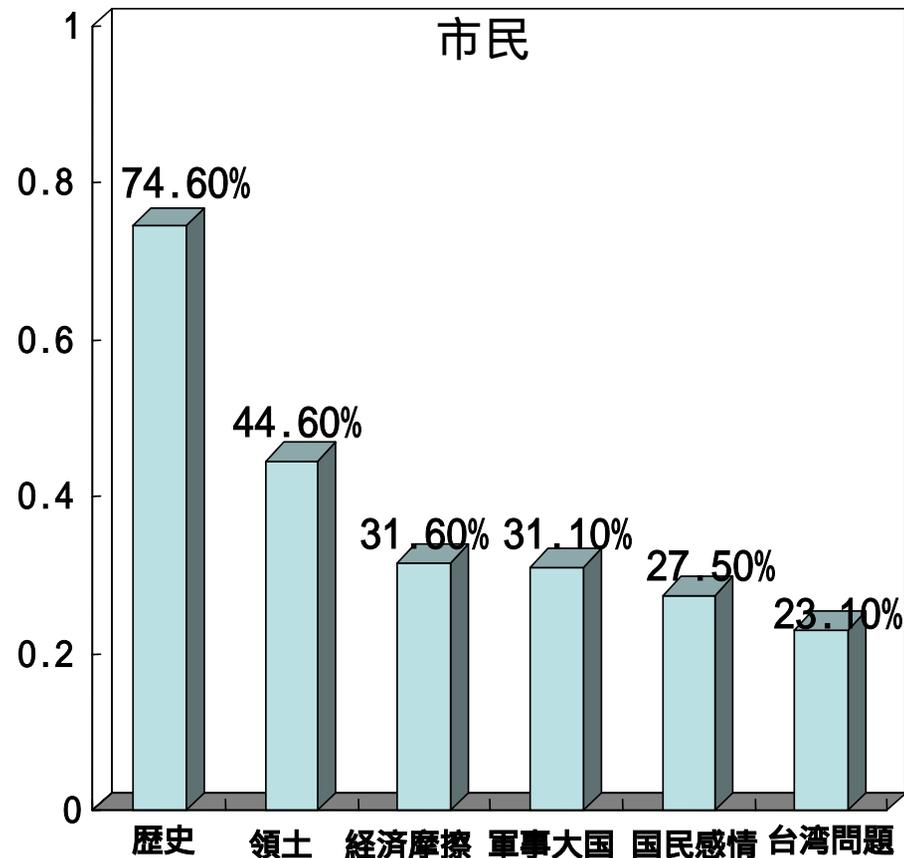
中日関係の未来に対して楽観的な人が、悲観的な人を超えている。

## 主な問題に対する態度(1) : 両国関係の主な障害

学生

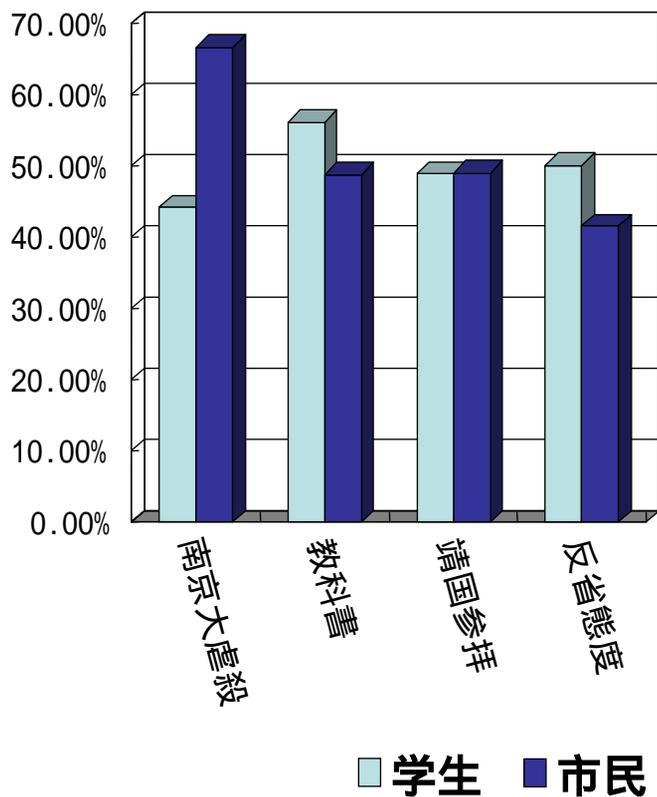


市民

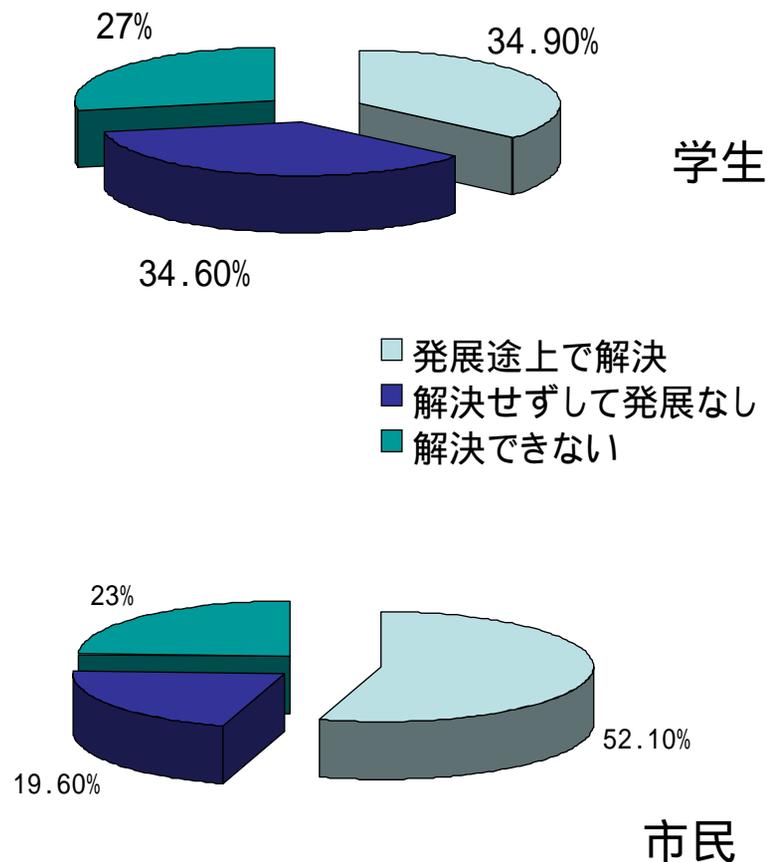


## 主な問題に対する態度(2): 歴史問題

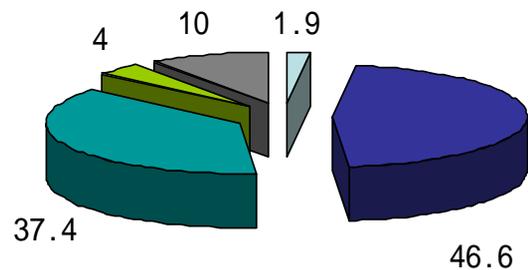
### 主な歴史問題



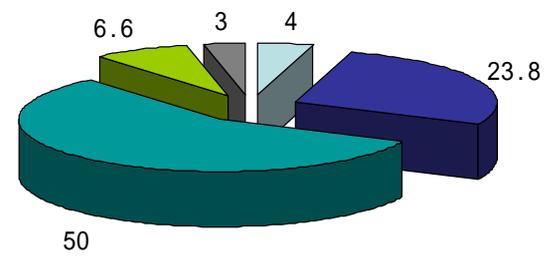
### 歴史問題をいかに解決するか?



学生



市民

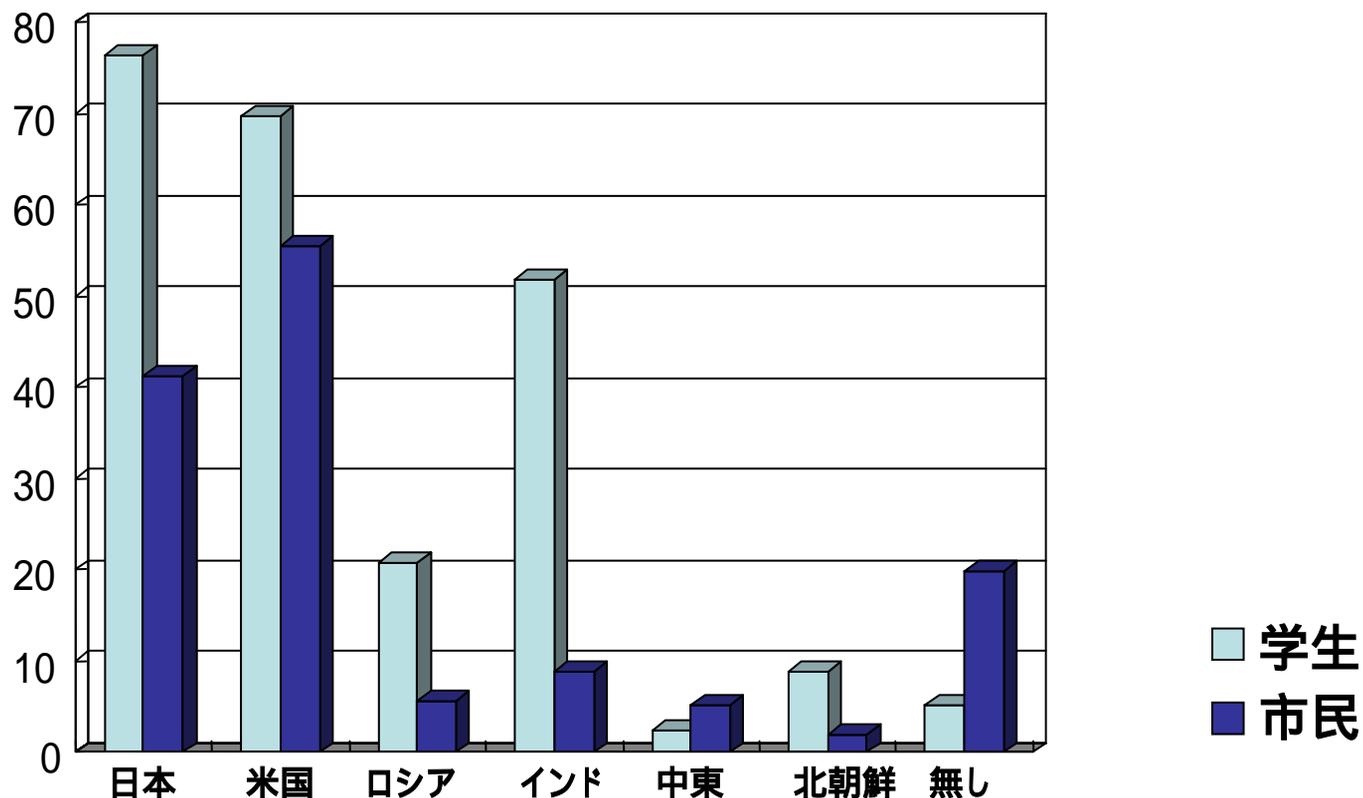


- 参拝は関係ない
- 甲級戦犯を他所へ
- 参拝すべきでない
- 日本の内政である
- その他

主な問題に対する態度(3):  
経済関係

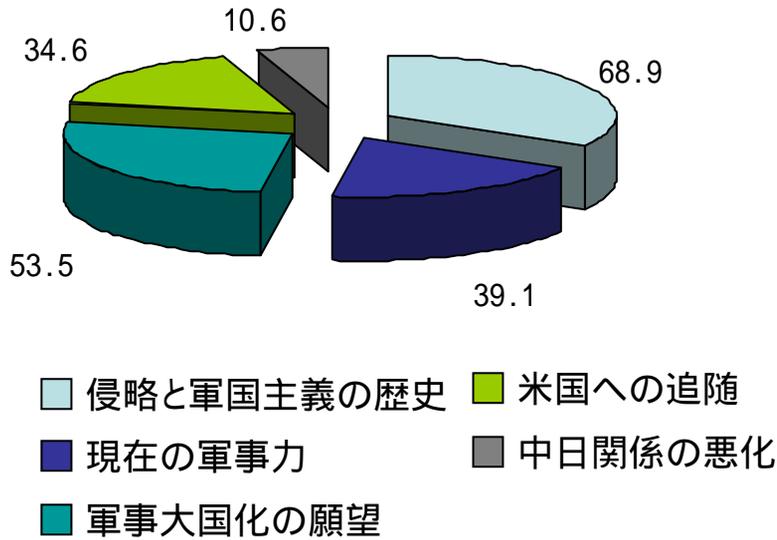
判定A	同意A %		基本的に同意A%		分からない%		基本的に同意B%		同意B%		判定B
	学生	市民	学生	市民	学生	市民	学生	市民	学生	市民	
日本は引き続き経済大国?	8.3	7.1	20.6	22.1	45.1	6.0	19.4	38.1	6.6	22.4	日本経済の影響力は下降している?
中日経済関係は相互利益?	14.2	7.1	41.5	33.3	24.6	2.9	9.3	38.3	10.4	16.2	中日経済関係は競争?
エネルギー資源については協力提携?	3.8	13.7	22.5	30.5	35	3.1	16.2	32.1	22.5	18.6	エネルギー資源については自主的?

どの国が中国にとって軍事的脅威か？



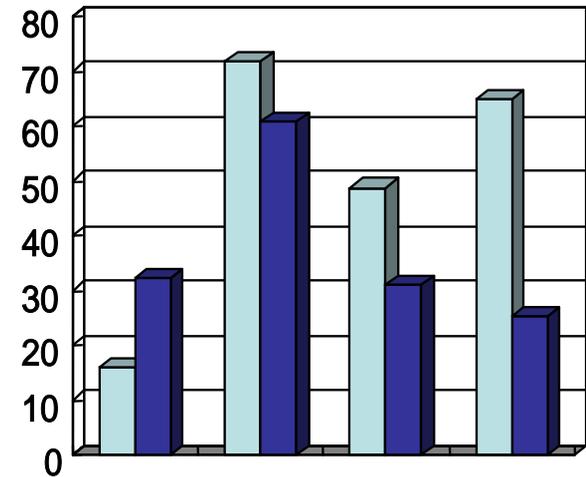
## 主な問題に対する態度(4): 政治と安全-脅威感

### なぜ日本が脅威か?



### 日米同盟についての態度

学生

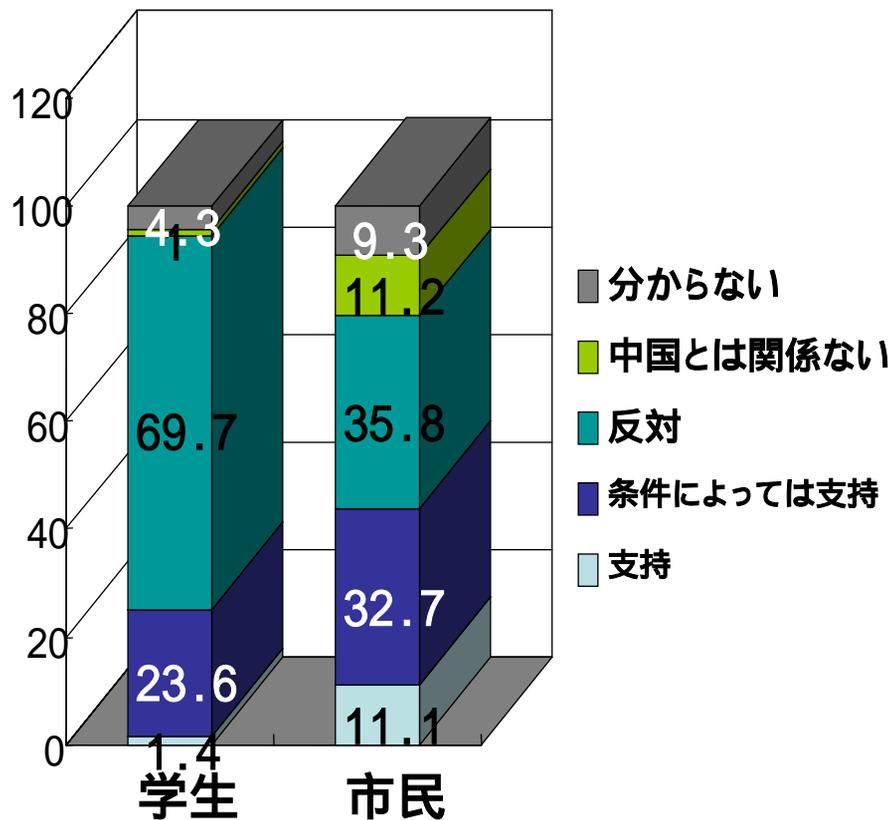


市民

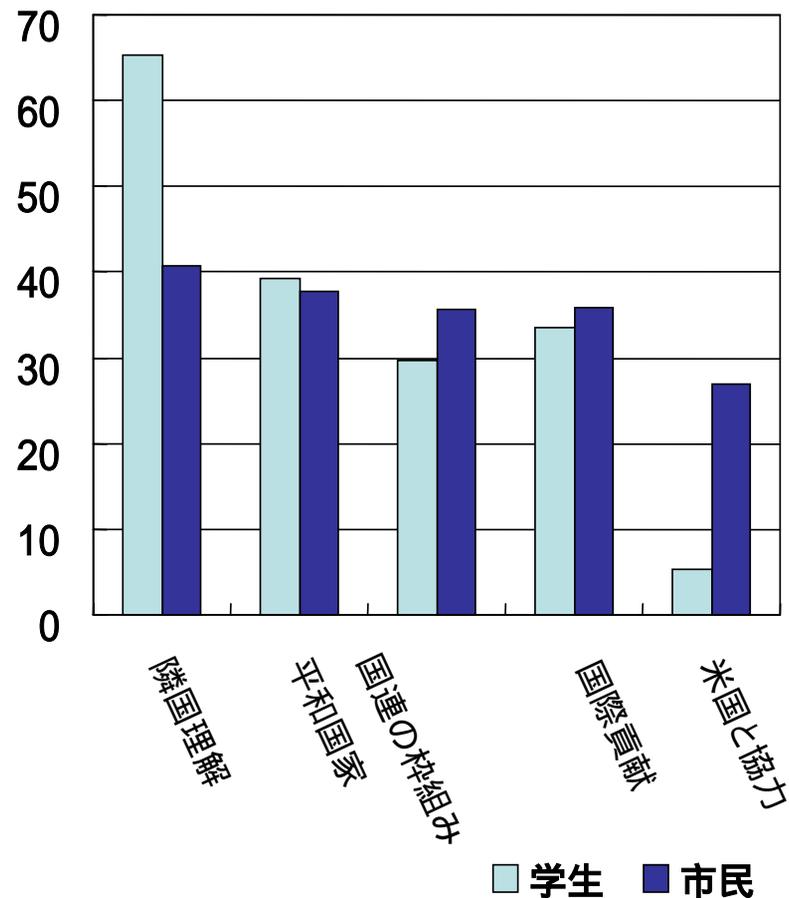
□ 学生  
■ 市民

## 主要問題に対する態度(4): 政治と安全-日本の国際的影響力

日本の常任理事国入りについて



日本がどのように国際社会で影響力を発揮することを希望するか？



## 主な問題に対する態度(5): 首脳相互訪問と民間外交

### 首脳外交についての理解

	学生	市民
安倍首相の訪問のみ知っている	5.6%	4.8%
温家宝総理の訪問のみ知っている	10.1%	29.3%
二度の訪問をどちらも知っている	71.8%	39.9%
まったく知らない	12.5%	2.6%

### 首脳会談は何を討論すべきか?

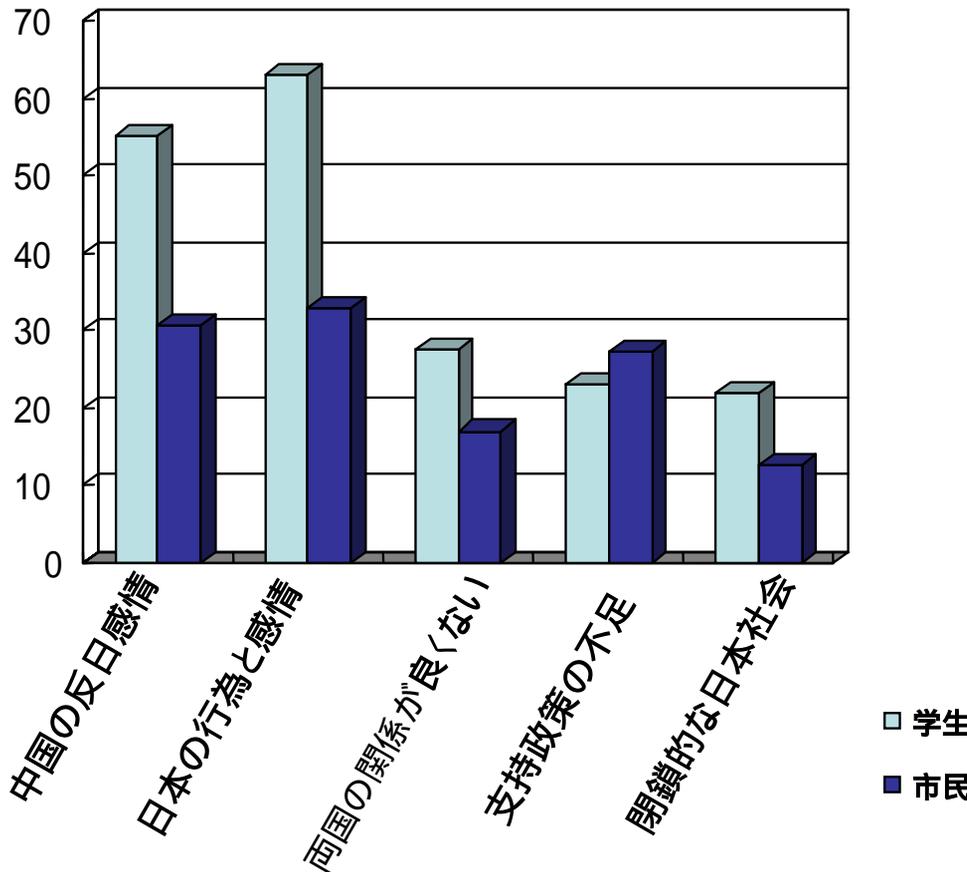
	1	2	3	4
学生	歴史問題	東シナ海問題	経済協力	地域協力
市民	経済協力	歴史問題	東シナ海問題	省工ネ環境保護

### 首脳会談は効果があるか?

	学生	市民
期待できる	31.6%	9.8%
比較的期待できる	46.3%	54%
あまり期待できない	15.7%	22.3%
期待できない	4.1%	6.2%
分からない	2.3%	7.6%

## 主な問題に対する態度(5): 首脳の相互訪問と民間外交

### 民間交流に影響する要素



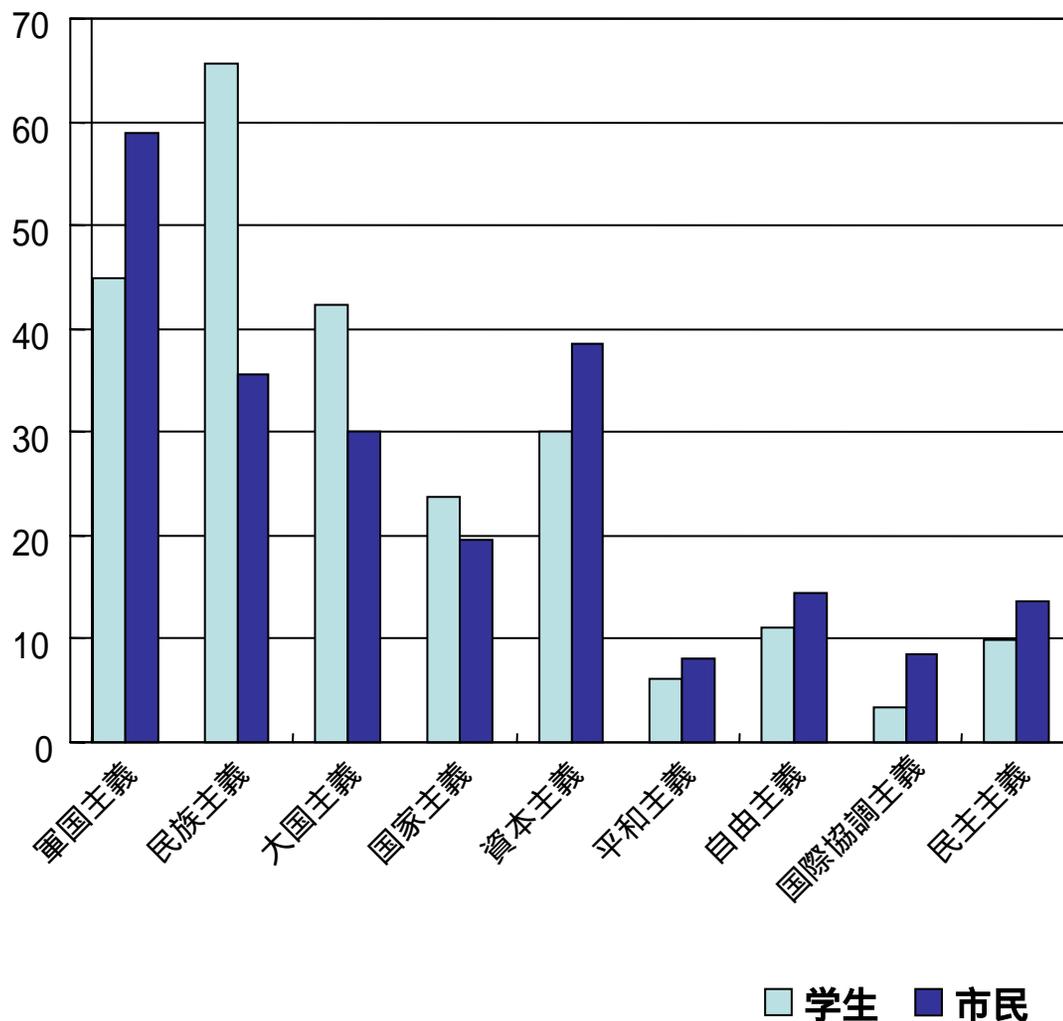
	学生	市民
日本に行きたい	78.2%	36.3%
行きたくない	21.8%	55.6%

### なぜ日本に行きたいか？

	学生	市民
旅行	72.4%	85.3%
仕事	7.6%	21.6%
留学	18.9%	7.7%
居住	3.5%	8.2%
交流	33.9%	6.8%
その他	11.8%	1.1%

# 日本に対する理解(1)

## 民族の性格と政治思潮

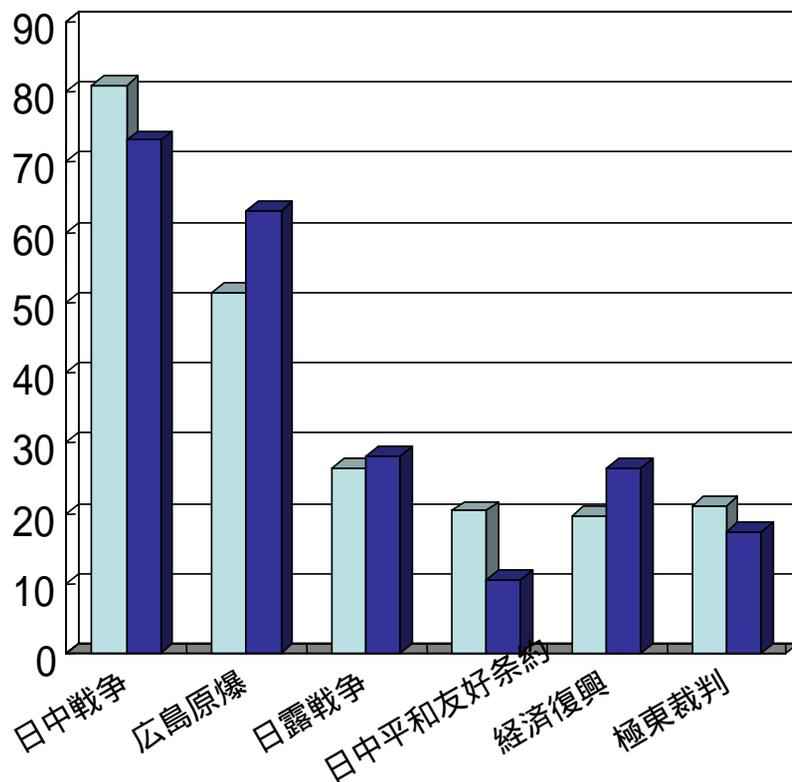


日本人は相対的に礼儀正しく、勤勉、融通性、創造性と集団意識があるが、また一方、好戦的、裏表がある、信頼が置けない、自分本位の面があると多数の中国人は考える。

主導的な日本の政治思潮については、民族主義、軍国主義、大国主義等が依然として上位に並ぶ。平和主義、自由主義、国際協調主義など日本でよく使われている語彙は中国ではあまり認められていない。

# 日本に対する理解(2): 人物と事件

## 主な事件

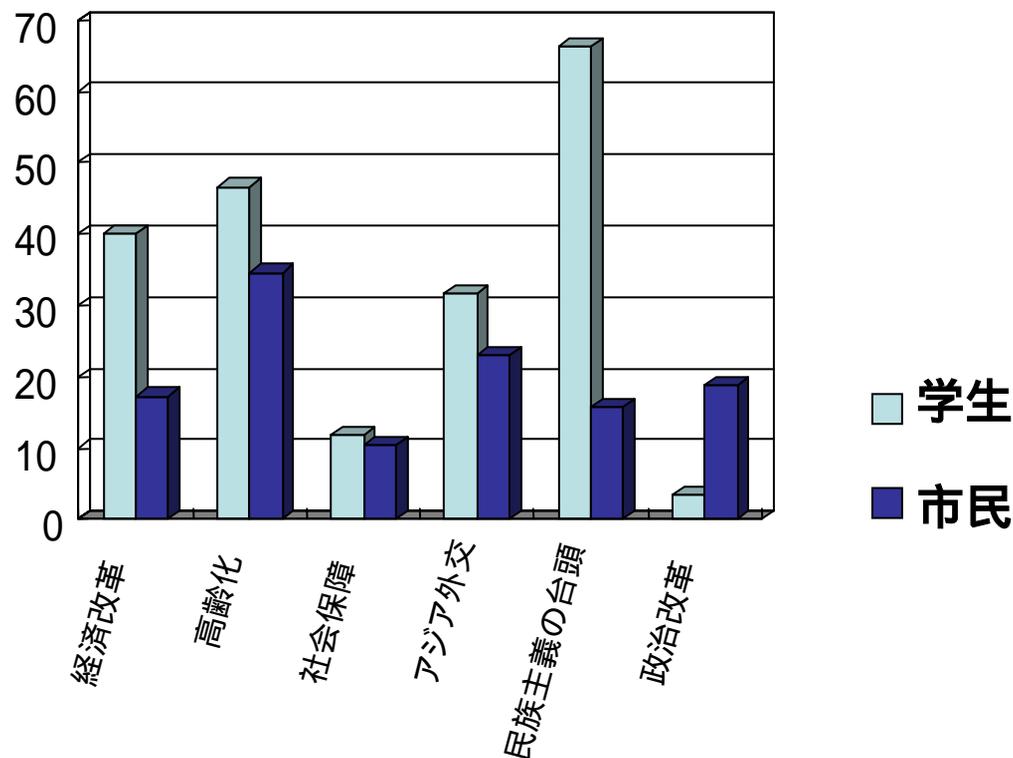


## 主要人物

人物	学生 (%)	市民 (%)
安倍晋三	81.7%	33.2%
小泉純一郎	94.7%	72.3%
中曽根康弘	10.7%	11.7%
大平正芳	4.5%	12.1%
田中角栄	62.1%	21.9%
吉田茂	5.9%	4.8%

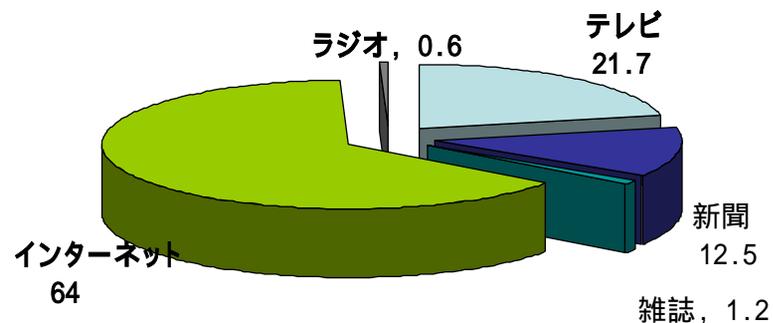
■ 学生  
■ 市民

## 日本に対する理解(3): 日本が直面する主な問題

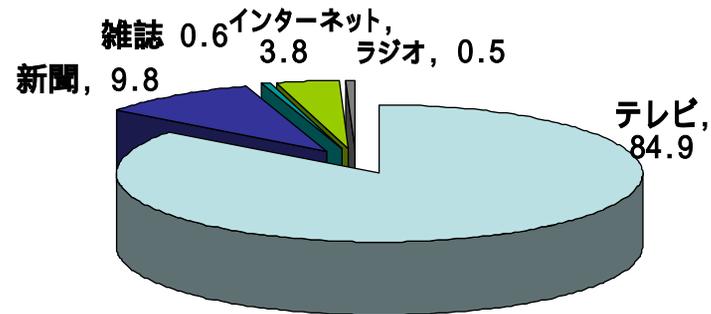


## 日本に対する理解(4): 日本理解の主な経路

	学生	市民
直接交流または訪問	6.7%	5.8%
中国の報道メディア	90.2%	87.8%
中国の書籍(教科書を含む)	5.6%	40.6%
中国の映像作品	36.6%	37.2%
日本の報道メディア	3.8%	8.8%
日本の書籍	3.9%	3.9%
日本の映像作品	24.6%	9.6%
その他中国人の評論	20.3%	11.2%
家族、知人、友達	10.6%	11.9%
中国政府またはスポークスマン	10.5%	10.9%
その他	1.5%	0.1%



学生

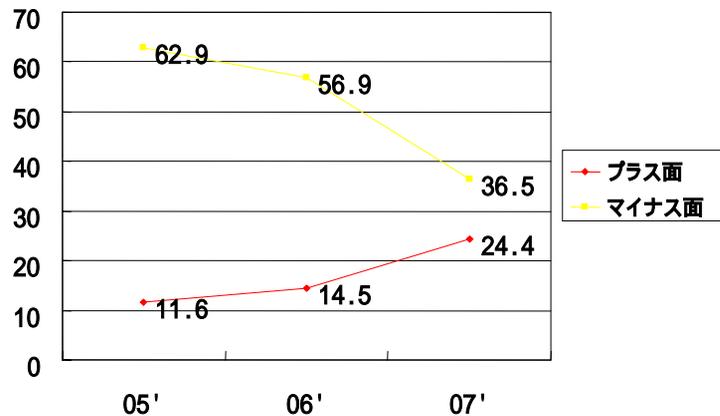


市民

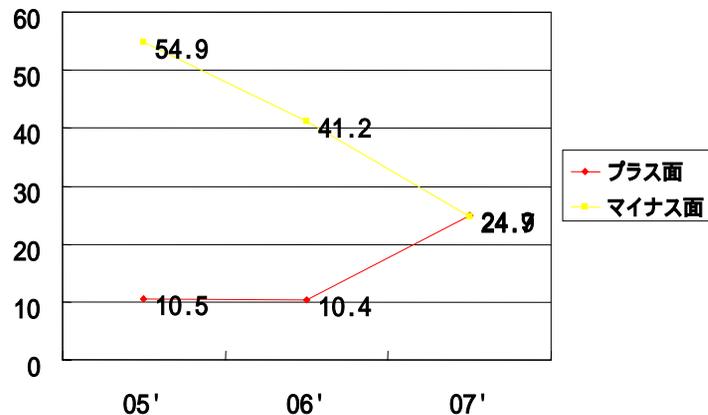
96.2%の学生と98.8%の市民が日本に行ったことがなく、62.3%の学生と92.4%の市民が日本人と交流したことがない。しかし学生の35.1%が多かれ少なかれ日本の学生等と交流経験があり、日本人の知人と密接な交流がある学生・市民の比率は少ない。

結論1: 日本と中日関係に対する全体的な印象は明らかに好転している

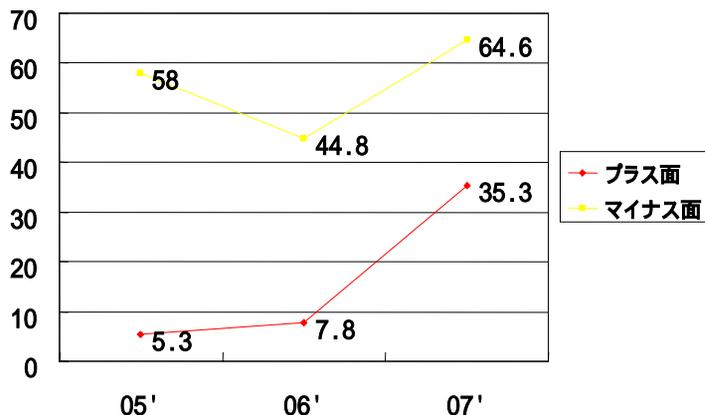
## 市民の対日印象の変化



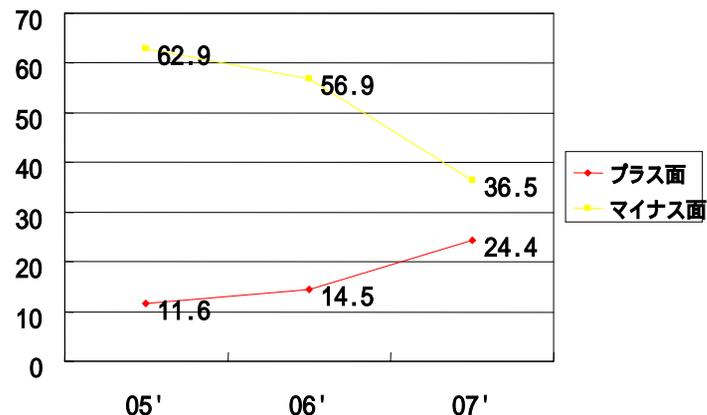
## 市民の現在の中日関係に対する印象



## 学生の対日印象の変化



## 学生の現在の中日関係に対する印象



## 結論2：

具体的な問題に対する態度は安定している

- 中日関係に存在する主な障害、歴史問題の認知の解決、中日経済関係、日米同盟、中日のアジアにおける協力提携、首脳外交と民間交流等の問題上、三年の調査結果は押しなべて安定・継続している。例えば、歴史問題と領土問題は三年の調査において常に両国関係における問題の1,2位を占めている。経済摩擦、日本の軍事大国化や国民感情なども市民・学生に重視されている。
- 経済関係に対する見方はおおむね肯定的、積極的である。例えば学生、市民の大多数は地域の促進(学生60.1%、市民65.2%)と各々の経済・社会発展(学生62.4%、市民57.3%)における中日の協力提携を支持し、また比較的多くの市民・学生が首脳会談での両国の経済関係の強化(学生41.6%、市民31.7%)を期待している。学生の多く(55.7%)は両国の経済関係を、互いに利益あるものと見なしている。

## 結論3：民間交流の強化が必要

---

- 「中国民衆の日本に対する理解は依然と間接的で、限りがあり、初歩的なものである。これは日本を理解する限られた経路、及び日本人に直接接する機会の少なさに関係がある」。以前と比べても、このような状況には明確な変化がいまだみられない。中日双方が継続して情報交流のルートを広げ、民間交流を大いに推し進める必要がある。